



住む人のことを考えるからこそ本物主義

塗り壁

直接、人をつつむ空間にはとにかく良いものを。

人が親近感を持つ、土や木などの自然素材でつくられた塗り壁は古来より日本の風土が育んできた暮らしの文化です。

化学物質を放出しない壁

一般的な住宅では、工事が簡単で安価な壁紙を採用することが多いようです。しかし、まだまだホルムアルデヒドやVOC（揮発性有機物）などの有害なアレルギー原因物質を発生するものが多いため、スモリの家では塗り壁を採用。

有害物質を排出せず、本物ならではの風格が長続きます。



吸収するから一年中快適

塗り壁は湿気を調整したり、匂いや有害物質を吸着する働きが大きいのも魅力です。

家具やおもちゃ、家電品などからも有害な化学物質は排出されますので、塗り壁の吸着効果はとても大切です。

嫌な臭いを抑え、空気をクリーンに保ち快適な室内空間をつくります。



変色や剥がれがなく長寿命

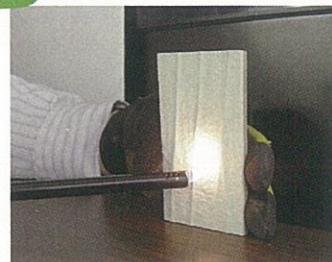
基本的に塗り壁は、珪藻やサンゴの化石といった無機物から構成されているので、壁紙やビニールクロス等の有機物と違い、日光による変色もなく長寿命です。

また、壁紙などは経年劣化により壁一面の張替えが必要になりますが、塗り壁の場合は小規模の補修で済むというメリットもあります。

塗り壁は耐火性もバッチリ！

昔から火に強い土として定評があり、七輪・コンロ・耐火断熱レンガなどの原料として使用されてきた珪藻土(けいそうど)。

もちろん塗り壁も火に強く、火にさらしてもわずかに焦げ色がつく程度で済みます。



日光や照明器具によって生み出される
陰影の美しさも
塗り壁の魅力